愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2023年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	キャリアプランニングⅠ		
担当者(Instructors)	小川 現樹	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

キャリアを形成するには、産業構造を理解し、自らがその分野・領域で社会生活を営んでいくのかを選択する必要がある。 3年生前期にはインターンシップという貴重な機会を控え、それ以前に自らの方向性を定められることを目標とし、産業構造の知識と理解を深めることを目的とする。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	講義・個人でのワークを交えて実施します。 最低限のマナーとして、講義中の私語、携帯端末の無断利用、入退室は原則禁止します。 （ワーク中の意見交換は大いに行ってください。）

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション・インターンシップの概要	・授業の取り組み方と内容の確認 ・インターンシップの概要ついて学びます	□
第2回	業界・業種・企業・職種を知る	厚生労働省「日本標準産業分類」と「jobtag」を用いて産業構造の理解を進める	□
第3回	職業選択と世の中の仕事	日本国内においての職業に対する理解を深める。そのなかでいかに仕事を選択するのかを考える。	□
第4回	企業研究手法	第6回以降の業種研究にそなえ、業界・業種・企業研究についての手法を学ぶ。	□
第5回	ナビサイトを活用した企業検索①	株式会社マイナビより講師をお招きして、インターンシップ参加に向けての準備を実施いたします。（内容については変更される場合があります）	□
第6回	業種研究①（製造①）	電子・電気・OA機器、輸送用機器、鉄鋼・金属等の製造業についての理解とビジネスモデル研究	□
第7回	業種研究②（製造②）	食品、アパレル、建築、住宅・インテリアについての理解とビジネスモデル研究	□
第8回	業種研究③（商社）	総合商社、専門商社についての理解とビジネスモデル研究	□
第9回	業種研究④（小売）	さまざまな業態（専門店、百貨店、GMS、食品スーパー等）についての理解とビジネスモデル研究	□
第10回	業種研究⑤（金融）	銀行、証券、リース等についての理解とビジネスモデル研究	□
第11回	業種研究⑥（サービス・インフラ）	ホテル・テーマパーク・旅行、電気・ガス・道路等についての理解とビジネスモデル研究	□
第12回	業種研究⑦（ソフトウェア・通信）	通信キャリア、各種ソフトウェアメーカー・ベンダーについての理解とビジネスモデル研究	□
第13回	業種研究⑧（広告・出版・マスコミ）	広告・出版・マスコミについての理解とビジネスモデル研究	□
第14回	ナビサイトを活用した企業検索②	株式会社マイナビより講師をお招きして、インターンシップ参加に向けての準備を実施いたします。（内容については変更される場合があります）	□
第15回	まとめと次年度に向けての取り組み	3年次でのインターンシップ参加に向けて、これまでのまとめと自身の方向性を検討する	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

事前学習：各テーマについてのニュース・新聞・ビジネス雑誌等を予習すること。（120分） 事後学習：各テーマについて、具体的にどんな企業があるのか、そこで働く場合の必要な能力や行動を考え積み重ねる。（120分）

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

受講レポート、ワークシートについて：添削・採点の後返却いたします。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◆ 2019全学共通DP1	インターンシップ参加にむけての基礎的な知識について理解し、自らの進路決定について活用することができる
思考力・判断力・表現力	◇ 2019全学共通DP2	自身の将来を主体的に考え、表現し、行動できる

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験（in-class exam)	その他(Other)
		50%		50%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

その他：受講レポート、授業内で指示された提出物、授業に対する取り組み姿勢

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	授業内で配布	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	親子のための就職学　親バカはいいけど、バカ親になるな！（株式会社流行発信2015）	978-4890402670
2		
3		
4		
5		